

# LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第102期(決算日2017年4月13日) 第103期(決算日2017年5月15日) 第104期(決算日2017年6月13日)  
第105期(決算日2017年7月13日) 第106期(決算日2017年8月14日) 第107期(決算日2017年9月13日)

作成対象期間(2017年3月14日～2017年9月13日)

第107期末(2017年9月13日)	
基準価額	5,409円
純資産総額	59,629百万円
第102期～第107期	
騰落率	2.6%
分配金(税込み)合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)」は、2017年9月13日に第107期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

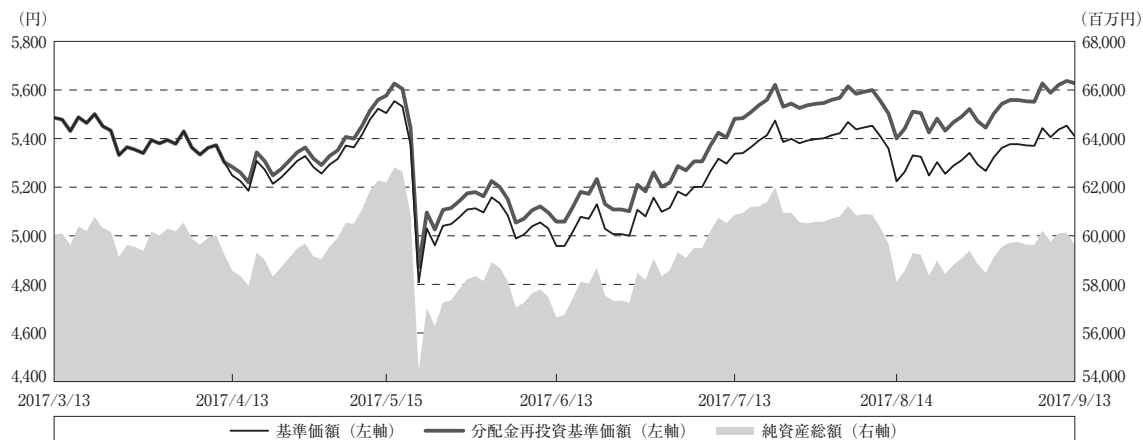
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2017年3月14日～2017年9月13日)



第102期首：5,486円

第107期末：5,409円（既払分配金（税込み）：210円）

騰落率：2.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年3月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年9月13日）のLM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は5,409円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス2.6%（分配金再投資ベース）、基準価額は133円（分配金込み）上昇しました。

ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。一方、為替損益については、ブラジルのリアル・円相場がリアル安・円高となったことからマイナス寄与となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2017年3月14日～2017年9月13日）

項 目	第102期～第107期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	44	0.844	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(21)	(0.408)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(21)	(0.408)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.080	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 4)	(0.077)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 0)	(0.002)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	48	0.924	
作成期間の平均基準価額は、5,265円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

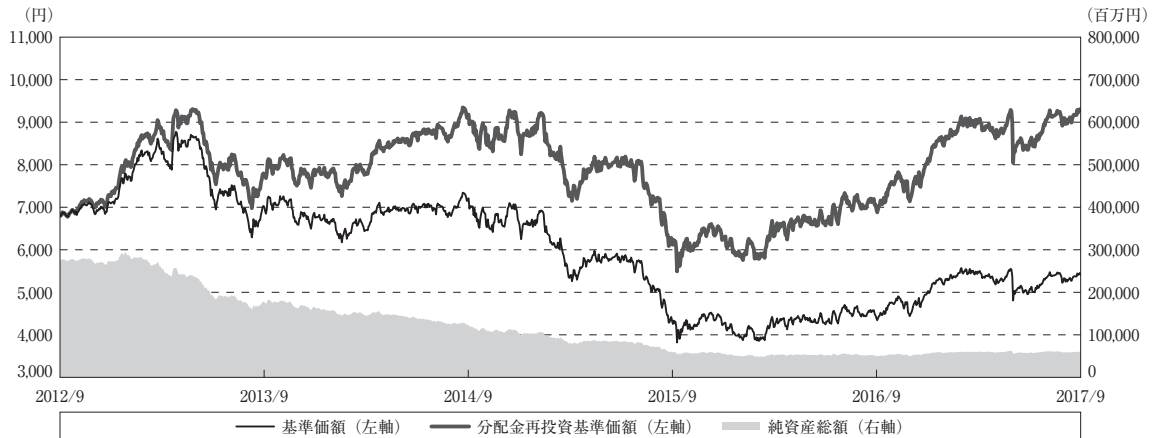
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年9月13日～2017年9月13日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年9月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年9月13日 決算日	2013年9月13日 決算日	2014年9月16日 決算日	2015年9月14日 決算日	2016年9月13日 決算日	2017年9月13日 決算日
基準価額 (円)	6,804	6,908	6,967	4,255	4,454	5,409
期間分配金合計(税込み) (円)	-	860	920	660	420	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	13.9	15.4	△ 31.6	15.3	31.7
純資産総額 (百万円)	275,577	174,453	119,027	58,633	50,878	59,629

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

（2017年3月14日～2017年9月13日）

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、利回りは概ね横ばいで推移しました。ブラジル中央銀行（BCB）による積極的な利下げスタンスが利回りの低下要因となる一方、ブラジルの汚職問題を巡る政局の混乱や、テメル政権の経済・財政改革の行方に関する不透明感などが、利回りの上昇（価格は下落）要因となりました。その後、改革の柱となる年金改革法案の成立へ向け進展が見られたことなどを好感し、利回りは低下しました。

期の半ばは、テメル大統領が汚職事件の隠蔽工作に関わったとする報道を受け、政局の不透明感が強まるとともに財政改革への懸念が生じたことから、利回りは一時急上昇しました。その後は、市場が落ち着きを取り戻し、改革の一端を担う労働法改正案が可決される見通しが高まったことなどから、利回りは低下基調となりました。

期の後半は、インフレ環境の改善が続きBCBによる利下げ観測が根強い中、労働法改正案の成立や、テメル大統領に対する収賄容疑による起訴が議会で否決され、政局不安がやや後退したことなどから、利回りは低下しました。その後、北朝鮮情勢の緊迫化を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りに一時上昇圧力がかかりましたが、当作成期末にかけては、BCBによる追加利下げなどを背景に再び低下基調となりました。

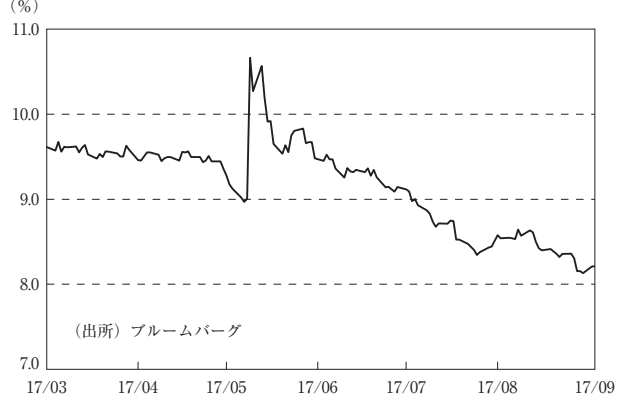
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが積極的な利下げを継続していることや、政局の混乱やそれに伴う財政改革の進捗に関する懸念などを背景に、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことや、年金改革法案の成立へ向け進展が見られたことなどを好感し、リアル買い・円売りが優勢となりました。

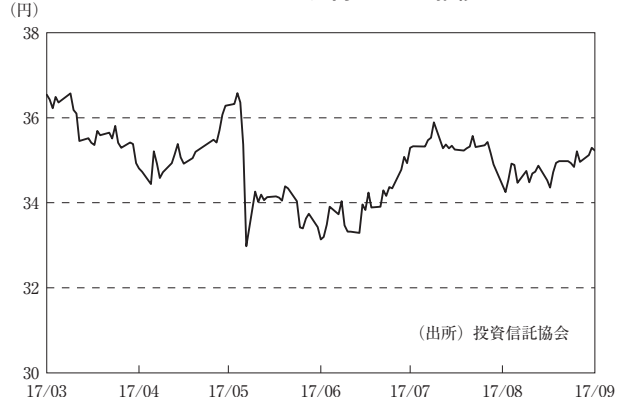
期の半ばは、テメル大統領の汚職疑惑に関する報道を受け、政局の不透明感が強まったことなどから、リアル売り圧力が急速に強まる場面が見られました。しかしその後、市場が落ち着きを取り戻し、労働法改正案が可決される見通しが高まったことや、欧米の債券利回りの上昇を受け市場全体で円安となった影響などから、リアルは対円で強含みとなりました。

期の後半は、北朝鮮情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時、為替市場全体で円買いが優勢となる中、リアルも対円で下落しました。しかしその後は、ブラジル政府によるインフラ運営権売却および民営化計画の発表や、実質GDP成長率が2四半期連続でプラスとなったことなどを好感し、リアルは対円で底堅い推移となりました。

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（2017年3月14日～2017年9月13日）

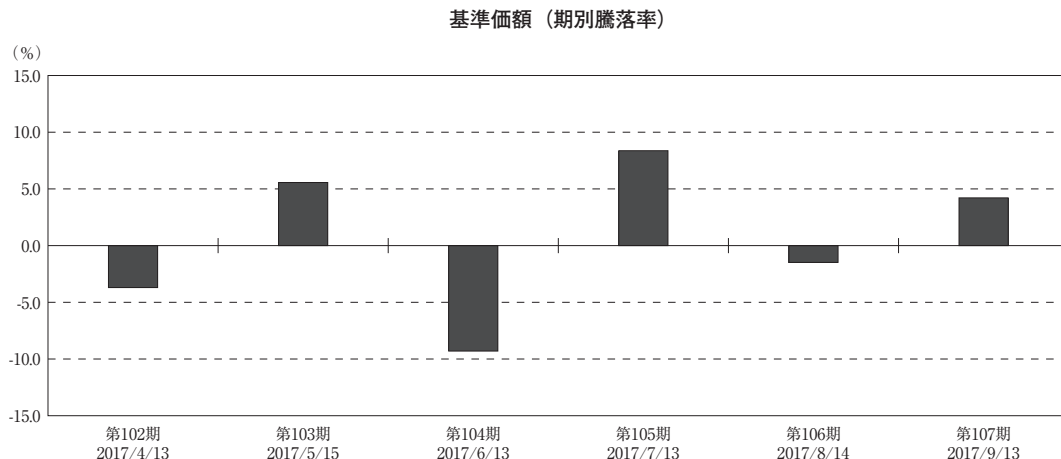
当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年3月14日～2017年9月13日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2017年3月14日～2017年9月13日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2017年3月14日～ 2017年4月13日	2017年4月14日～ 2017年5月15日	2017年5月16日～ 2017年6月13日	2017年6月14日～ 2017年7月13日	2017年7月14日～ 2017年8月14日	2017年8月15日～ 2017年9月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.663%	35 0.632%	35 0.701%	35 0.651%	35 0.666%	35 0.643%
当期の収益	35	35	30	35	35	35
当期の収益以外	-	-	4	-	-	-
翌期繰越分配対象額	318	327	323	328	329	335

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

ブラジル経済については、2017年4－6月期の実質GDPが2四半期連続でのプラス成長となるなど、民間消費主導での国内景気に安定の兆しが見られています。労働法改正案の成立なども今後の景気下支え要因として期待されます。一方、政局の不透明感は依然根強く、財政改革の柱となる年金改革の行方に注目が集まります。

金融政策については、BCBは2017年9月の金融政策委員会（COPOM）において、積極的な追加利下げを決定しました。一方では、緩和ペースを縮小し、現在の利下げサイクルの軟着陸を図る意向を示唆しましたが、当面は、インフレ環境の改善が進んでいることを背景に、BCBは景気下支えのために緩和スタンスを継続すると予想されます。

為替市場については、政局の動向や年金改革の行方に影響を受け、不安定となる可能性があります。また、北朝鮮情勢を巡る地政学リスクがレアルの上値を抑える可能性があります。しかし、足元の景気に底打ちの兆しがみられる中、ブラジルの金利が依然として相対的に高いことがレアルを下支えすると予想されます。

債券市場については、インフレ環境の改善を背景に、当面はBCBによる緩和スタンスが続くと予想され、引き続き利回りの低下要因となると見込まれます。ただし、政局の動向や年金改革の行方に影響を受け、不安定となる場面も見られると予想されます。

当ファンドにおきましては、信託財産の中長期的成長を目指すと同時に、毎月の分配金を享受していただくことができますよう、運用に注力していく所存です。

## お知らせ

該当事項はございません。

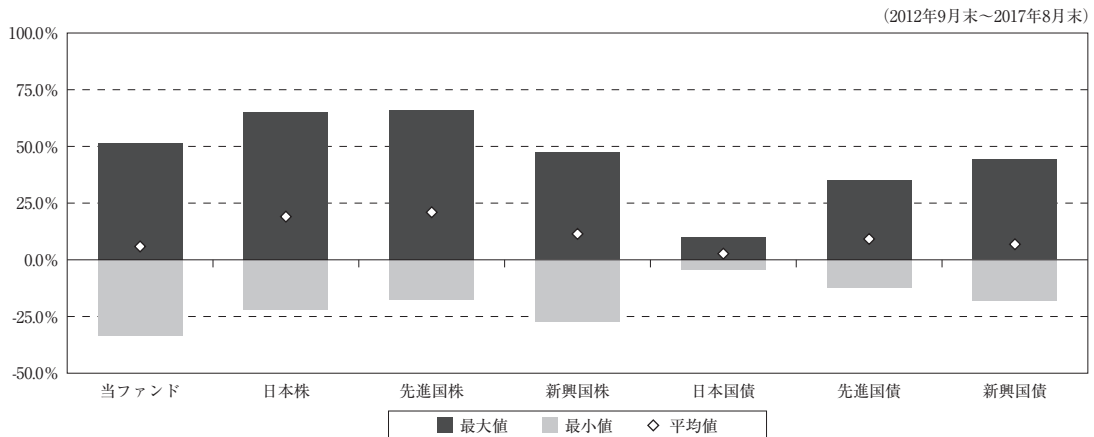
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	



## （参考情報）

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	51.5	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△ 33.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	5.9	19.0	21.0	11.4	2.7	9.2	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年9月から2017年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## \* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

（2017年9月13日現在）

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第107期末
LM・ブラジル国債マザーファンド	100.8%
組入銘柄数	1銘柄

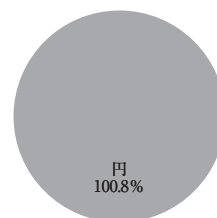
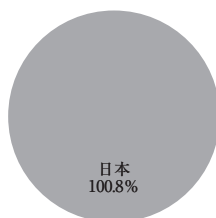
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2017年4月13日	2017年5月15日	2017年6月13日	2017年7月13日	2017年8月14日	2017年9月13日
純資産総額	58,561,489,307円	62,203,973,599円	56,641,542,740円	60,860,652,590円	58,105,110,063円	59,629,409,321円
受益権総口数	111,580,083,676口	113,003,722,795口	114,234,639,495口	114,019,488,471口	111,229,150,409口	110,248,031,070口
1万口当たり基準価額	5,248円	5,505円	4,958円	5,338円	5,224円	5,409円

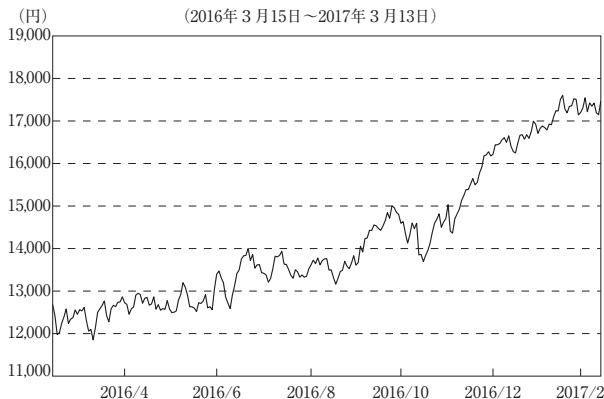
\* 当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は15,318,244,099円、同解約元本額は14,534,948,877円です。

## 組入上位ファンドの概要

## LM・ブラジル国債マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2016年3月15日～2017年3月13日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2016年3月15日～2017年3月13日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	26 (25) (1)	0.182 (0.173) (0.009)
合計	26	0.182

期中の平均基準価額は、14,313円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2017年3月13日現在)

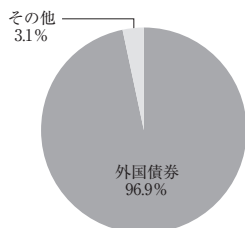
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2021/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	73.0
2	BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2019/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	17.9
3	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2017/10/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	2.9
4	BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2018/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	1.8
5	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2017/4/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.4
6	BRAZIL-NTN-F 10% (NOTA TESO N 10% 2023/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.4
7	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2018/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.3
8	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2017/7/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.2
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
	組入銘柄数		8銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

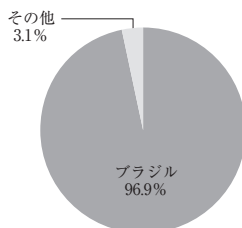
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

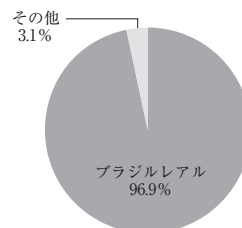
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。